

ノンバックブレーキ 補足取扱説明書

この度は、ノンバックブレーキ付き車いすをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書と同封の車いす取扱説明書を必ずお読みになり、十分に理解したうえでお使いください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

ノンバックブレーキの特長

使用者が車いすから立ち上がるとノンバックブレーキが働き、車いすの後方移動を抑えます。
万一、駐車用ブレーキをかけ忘れて車いすに乗り降りした際でも、車いすの後方移動を抑えることで
転倒事故の防止や被害の軽減を目的とした安全補助装置です。

安全上のご注意

⚠ 警告

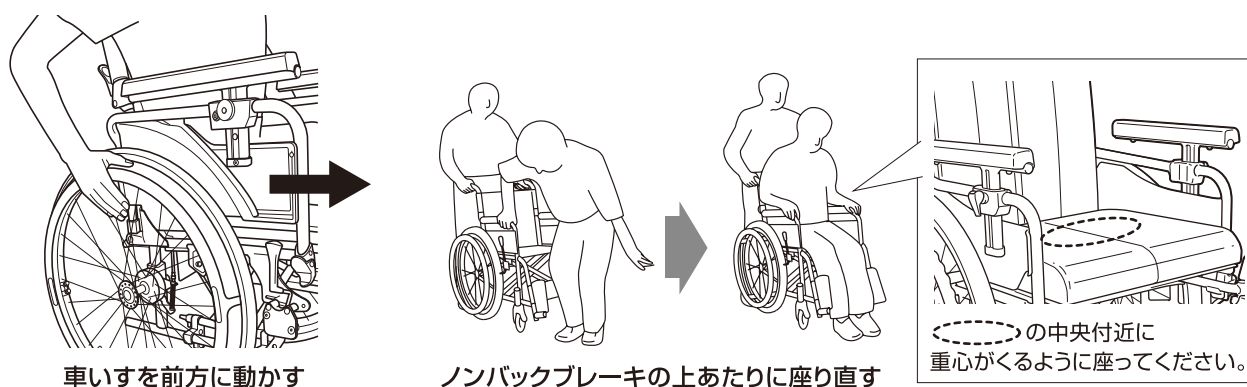
- ・ ノンバックブレーキは、車いすの正しいご使用を前提とした安全補助装置です。
ノンバックブレーキに頼った使用は行わず、乗り降りの際および停止時は必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。
- ・ ノンバックブレーキは車いすの後方移動を抑える安全補助装置です。
ノンバックブレーキが働いている状態でも車いすは前方には動きますので、駐車時や、乗り降りする際は必ず平坦な場所で行い、駐車用ブレーキをかけてください。

⚠ 注意

- ・ ノンバックブレーキは、使用者の体型や体重、乗り降りの仕方、座クッションの種類や状態、駆動輪（主輪）の空気圧等の条件によって、正しく機能しない場合があります。
ご使用前に必ず作動確認を行ってください。
- ・ 使用者の適応体重は、30kg以上です。
適応体重に満たない場合は作動状況をご確認の上、ご利用ください。
- ・ 乗車の際、シート前方部分に浅く座るとノンバックブレーキが解除されません。
ご使用前に試乗しノンバックブレーキが解除されることを確認いただいた上でご使用ください。
- ・ 乗車の際、着座する前にシートに手を置くとノンバックブレーキが解除され車いすが動き出す恐れがあります。
停車時は、駐車用ブレーキを必ずかけてください。

⚠️ 注意

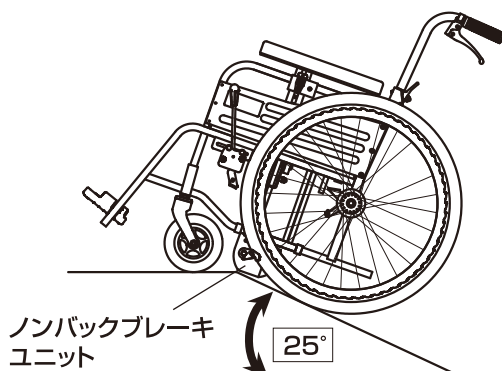
- ・ノンバックブレーキが働いている状態で車いすを後方へと押し下げると、ノンバックブレーキが通常より深くかかってしまう場合があります。
その場合は車いすを前方に動かしたり、座面中央部にあるノンバックブレーキの上あたりに座ってノンバックブレーキが確実に解除されたことを確認してからご使用ください。
- ・使用される方の症状や状態によっては、座面中央部分に着座できないことにより、ノンバックブレーキが十分に解除されないことがあります。
その場合は車いすを前方に動かしたり、座面中央部にあるノンバックブレーキの上あたりに座り直すことでノンバックブレーキが解除されます。
解除されることを確認してからご使用ください。



- ・ご使用になるクッションの種類により、ノンバックブレーキが作動しない場合があります。

使用できない クッション	・ウレタンクッションの厚み80mm以上のもの。 ・重量2kg以上のクッション、ジェル・ウォーター入りクッションなど。 ・クッション下面に硬いボードが入っているもの。
-----------------	--

- ・車載用の固定フックをノンバックブレーキユニットに掛けしないでください。
無理な負荷が加わり、破損する恐れがあります。
- ・25°以上のスロープを使用しないでください。
ノンバックブレーキユニットが地面に接触して破損する恐れがあります。



⚠️ 注意

- ・ 下記内容の注意タグを車いすに取り付けています。
内容をよく読んで車いすから取り外さずにご使用ください。

○ 

ノンバックブレーキについて

ノンバックブレーキは、車いすの正しいご使用を前提とした、車いすの後方移動を抑える安全補助装置です。
ノンバックブレーキが働いている状態でも、車いすは前方には動きます。

⚠️ 警告

ノンバックブレーキに頼った使用は行わず、必ず以下を守ること。

- ❶ 使用前には、必ずノンバックブレーキの作動確認を行う。
- ❷ 空気圧の点検を定期的に行う。(エアータイヤの場合)
- ❸ 乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかける。
- ❹ 駐車時や乗り降りする際は、必ず平坦な場所で行う。
- ❺ 25°以上のスロープを使用しない。
- ❻ 雨の日など、タイヤが水に濡れている状態では、ノンバックブレーキが十分に効かないことがある。
乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてから使用する。

表 面

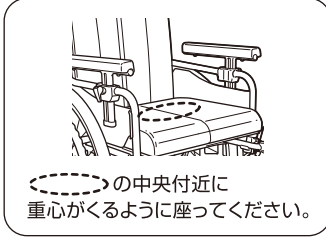
○

ノンバックブレーキについて

⚠️ 注意

以下の場合、ノンバックブレーキが正しく作動しないことがある。

- ・ 使用者の適応体重に満たない場合。
(適応体重 30kg以上)
- ・ 指定された座クッションを使用していない場合。
- ・ 座シートの中央部分より前方に浅く着座した場合。

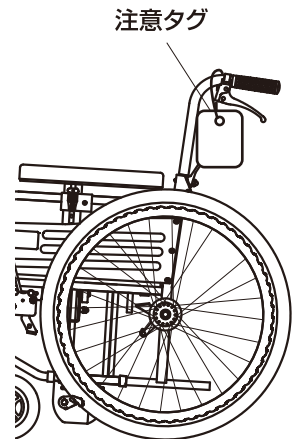


の中央付近に
重心がくるように座ってください。

詳しくは取扱説明書をお読みください。

2411-T04-NB

裏 面



使用前の点検(ノンバックブレーキ)

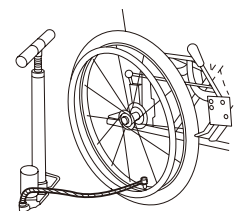
使用前に次の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や違和感がある時は、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ・ 空気圧の点検を定期的 to 実施してください。(エアータイヤの場合)

エアータイヤについて

- ・ タイヤの空気を自転車と同じ要領で補充してください。長時間使用しなくても空気は抜けていきます。空気が抜けた状態で使用すると、タイヤやチューブを傷め、破損する恐れがあります。
(タイヤの空気圧はタイヤ側面に明記されています。)
- ・ ブレーキの効き具合が悪いときは、タイヤの空気圧を調整してください。
それでもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- ・ パンクのときは、販売店または最寄りの自転車店におたずねください。また、パンクしたまま乗らないでください。



- ・ 使用者が乗車していない状態で、駐車用ブレーキを解除して車いすを後方に押した時に車いすが後方に動かないことを確認してください。
- ・ 使用者が車いすの座面に座った時に、ノンバックブレーキが解除され、車いすの操作ができることを確認してください。
使用者の状態により車いすの座面に座っても解除されない場合は、車いすを前方に動かしてください。
その動作の後にノンバックブレーキが解除され、車いすの操作ができることを確認してください。
- ・ 使用者が車いすの座面から立ち上がった時に、車いすが後方に動かないことを確認してください。
- ・ 車いすを折りたたんだ時に、ノンバックブレーキが解除され、車いすを移動できることを確認してください。
- ・ ノンバックブレーキとタイヤの間に異物が挟まっていないか確認してください。異物が挟まっていると誤作動を起こす恐れがあります。

使用方法

- ・乗車する際は車いすの中央に深く座り、必ずノンバックブレーキが解除されたことを確認してから操作してください。
シート前方に浅く座ったり、左右のどちらかに片寄って座るとノンバックブレーキが解除されない恐れがあります。
また、ノンバックブレーキがしっかり効いてタイヤに噛みこんでいると、解除しにくい場合がありますが、少し前進させるとノンバックブレーキが解除されます。
以上の操作により解除されることを確認してください。
- ・車いすのみでの移動方法(ノンバックブレーキの解除方法)
車いすのみ(使用者が乗車しない状態)で移動するときは駐車用ブレーキを解除し、座シート中央を持ち上げ車いすを軽く折りたたんだ状態にしてください。
ノンバックブレーキが解除され、車いすを移動できるようになります。

製造元



株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号